

孤独・孤立防止の取り組みとコミュニティの再生 － つながりづくりのソーシャルワーク実践 －

日 時：令和6年8月24日（土）午後2時～5時
実施方法：母校ルーテル学院大学での参集形式、および
オンラインでの参加形式の組み合わせ開催
会 場：ブラウンホール252教室及びZoom(後日通知)
内 容：基調講演、講演2、3、グループワーク

- I) 基調講演 講師 駒井 公 氏（全国社会福祉協議会）
テーマ：「能登半島地震の支援現場から見えてくるコミュニティ再生の諸課題」
- II) 講演2 講師 山本 繁樹 氏（立川市社会福祉協議会）
テーマ：「社会福祉協議会基本要項の改定と地域実践」
- III) 講演3 講師 伊藤 恵里子 氏（浦河ひがし町診療所）
テーマ：「当事者を中心とした応援ミーティングの実践と子育てを応援する地域づくり」

参加対象：ルーテル学院卒業生（定員50人）と在学生

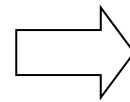
参加費用：1,000円

参加申込：下記 URL(Peatrix “ピーティックス”)から

<https://peatix.com/event/3914304>

申込締切：令和6年8月10日（土）

なお、在学生も参加できます。費用は無料です。後日、申込方法をお伝えします。



～ メッセージ ～

近年の日本社会における生活困窮、孤立死、8050といわれるような地域社会から孤立した世帯の増加、また児童虐待を生み出す理由に孤立と貧困があります。

2024年4月に施行された「孤独・孤立対策推進法」においては、「孤独・孤立の状態は人生のあらゆる段階において何人にも生じ得るものであり、社会の変化により孤独・孤立の状態にある者の問題が深刻な状況にあることを鑑み、孤独・孤立の状態にある者の問題が社会全体の課題であるとの認識の下に、社会のあらゆる分野において孤独・孤立対策の推進を図ることが重要であることを旨とする」という基本理念が示されています。孤独・孤立問題に対応していくためには社会制度・施策の整備とともに、各市町村、社会福祉協議会、NPO、地域住民の助け合い活動などが連携・協働して取り組んでいくことが不可欠です。

ルーテル・希望の会は、行政や社会福祉協議会、社会福祉法人等で働く卒業生による自主的学習活動で、上記内容のルーテル学院大学・大学院の卒業生の報告を踏まえて、地域社会の危機状況に対して私たちがどのように取り組んでいったらよいのか、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。